Vol.6
2019年9月

KYOEI新聞

発行者　株式会社　共栄
〒729-3111
広島県福山市新市町金丸438－1
Tel　0847-57-8001
HP:http://kyoei-casket.co.jp/

終活イベントの最先端！！

いつも共栄をご贔屓にしてくださるお客様の皆々様、夏の暑さも和らぎ、秋の匂いが感じられる季節となりました。朝晩は肌寒いくらいです。皆様、季節の変わり目ですのでくれぐれもお体にはご自愛ください。

恋人棺　～ラヴァーズ～

老いや死をテーマに様々なプログラムを行う地域包括ケアの祭典「igoku Fes（いごくフェス）2019」が8月31日9月1日の2日間、いわき市で開催されました。「いごくフェス」は、史上初の生と死の祭典と称して、生きること、老いること、病気になることや死ぬことを感じて、みんなで考えて、大事な人と話し合う機会になればとの思いで2018年福島県いわき市の地域包括ケア推進課の主催で始まったイベントです。世の中に「フェス」と呼ばれるものは数多くありますが、縁起でもないとタブー視されてしまう「死」やネガティブなものとして語られがちな「老い」や「病」をテーマにしながらも、老いも若きもじいちゃんもばあちゃんも、孫もひ孫もみんなで笑ってハッピーになれるフェスを目指して開かれています。

今年も様々な企画が開かれました。前夜祭では、老若男女、様々な生き方経験豊かなママたちと過ごす屋台スナックがオープンし、音楽や郷土芸能の野外ライブ、果ては野外のライトアップ入館体験、2日目は毒蝮三太夫さんを招いての抱腹絶倒のお笑いライブ、ヴァーチャルリアリティの世界で死を体験するVR看取り体験会など様々なおもしろ企画が行われました。その中の入棺体験コーナーで共栄のお棺を使っていただきました。パートナー企業である湯灌の会社様のアイデアで2人で入れるお棺を作成しました。最初は「めおと棺」という名前で走り出したこの入棺体験用のお棺ですが、夫婦で一緒のお棺入りたくはないとう社長夫人の鶴の一声により遊び心を込めて「恋人棺」と名付けました。入棺体験ということであまり暗くならないように窓には障子を使い、光が自然と入ってくるようにしております。お布団もダブルサイズをご用意いたしました。

ご夫婦お二人で、お子様とご一緒にまた恋人同士で入棺されたり大変盛況でした。過去に例を見ない400人もの方々に体験していただきました。お客様は死装束と三角頭巾でコスプレをしたり、ライトアップされたお棺に入ってみたりと終活のイベントとは思えないほど笑顔で溢れていました。死について考える中でこんなハッピーにさせてくれるイベントはおそらく全国初だと思います。こういった全国でのイベントのご様子などはこれからも発信していこうと思います。うちの地域ではこんな事やっているなどありましたら情報提供をお願い致します。

今月おすすめ商品のご案内

『シークルーザー』
海がお好きだった方、船に乗ってらっしゃった方におすすめの商品です。他の商品とは一線を画す大胆なフォルムは職人の技術の結晶です。また塗装には漆の技術が取り込まれ、艶やかな表情を見せます。内装も青と白を基調に、海のさざ波をイメージしてひだをつけております。海に強い思いを持ってらっしゃる方にはぜひ、おすすめの商品となっております。お問い合わせはぜひご担当の営業マンまでお願い致します。詳しく商品の解説をさせていただきます。

レジェンド社員紹介

平田　庄司　さん

国産お棺の製造工場の初代工場長！共栄の歴史を語る上では欠かせない人です。

森田　隆幸　さん

この道、30年の大ベテラン！
その技術力は天下一品！